平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年７月31日

上 場 会 社 名　　トラスコ中山株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　9830　　URL http://www.trusco.co.jp/
代　　表　　者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 中山　哲也
問合せ先責任者　(役職名) 取締役経営管理本部長　(氏名) 藪野　忠久　(TEL) 03-6435-6618

四半期報告書提出予定日　平成25年８月９日　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成26年３月期第１四半期の業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

（１）経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	32,460	1.6	1,859	△2.1	1,876	△1.4	1,122	△1.0
25年３月期第１四半期	31,963	7.4	1,899	19.7	1,902	20.3	1,134	27.8

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	34.03	―
25年３月期第１四半期	34.39	―

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第１四半期	96,663	82,781	85.6
25年３月期	100,032	82,283	82.3

（参考）　自己資本　26年３月期第１四半期　82,781百万円　25年３月期　82,283百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	16.50	―	20.50	37.00
26年３月期	―				
26年３月期(予想)		20.00	―	24.50	44.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成26年３月期の業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	67,269	5.7	4,437	16.0	4,387	15.2	2,615	20.9	79.29
通期	141,300	6.8	9,800	17.3	9,750	17.3	5,818	20.8	176.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期１Ｑ	33,004,372株	25年３月期	33,004,372株
②　期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	25,380株	25年３月期	24,680株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期１Ｑ	32,979,423株	25年３月期１Ｑ	32,980,056株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報……２

（１）経営成績に関する説明……２
（２）財政状態に関する説明……３
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明……４

２．四半期財務諸表……５

（１）四半期貸借対照表……５
（２）四半期損益計算書……７
（３）四半期財務諸表に関する注記事項……８
（継続企業の前提に関する注記）……８
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）……８
（セグメント情報等）……８

※ 当社は、四半期決算の補足説明資料を作成しており、決算短信発表後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

１．当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

①当第１四半期累計期間の経営成績

	金額	前年同四半期増減率
売　上　高	32,460百万円	1.6%
営 業 利 益	1,859百万円	△2.1%
経 常 利 益	1,876百万円	△1.4%
四半期純利益	1,122百万円	△1.0%

当第１四半期累計期間（平成25年４月１日～平成25年６月30日）における我が国経済は、海外景気の下振れがリスクとして残るものの、円安による輸出を取り巻く環境の改善や株価の上昇に伴い国内景気は着実に持ち直しの動きが見られました。

国内製造業を中心としたモノづくり現場においては、自動車や電気機械、一般機械等の加工組立関連企業が輸出の採算改善により比較的堅調に推移しました。さらには自動車増産の影響により鉄鋼や化学、非鉄等の業況も回復しました。設備投資においては、依然慎重な投資姿勢であるものの、リーマンショック以降先送りしていた機械等への投資再開、研究開発投資の実施など前向きな投資を検討する動きがあり、海外生産の進展等に伴い余剰となった生産設備の集約や拠点再編等に併せた合理化・効率化を目的とした投資の動きも見られました。

このような環境下で当社は、モノづくり現場で必要とされる“**PRO TOOL**”のニーズを的確に把握し取扱いを拡大するとともに、多様化するお客様に対して即納可能な商品を取り揃えることにより市場における存在価値を高める活動を実施しました。

その結果、当第１四半期累計期間における全体の売上高は324億60百万円（前年同四半期比1.6%増）となりました。

利益面につきましては、継続的に仕入先を増やし続けたことでナショナル・ブランド商品の採用数が増加し、前年同四半期と比べ、全体に占めるプライベート・ブランド商品の占有率が0.1%低下したことに加え、ナショナル・ブランド商品の利益率が0.1%低下したことにより、売上総利益率は20.6%（前年同四半期比0.1%減）、売上総利益は72百万円増加の66億86百万円（前年同四半期比1.1%増）となりました。

販売費及び一般管理費は、当事業年度末において前事業年度の当期純利益を超えることを条件に、支給を予定している業績連動型賞与及びそれに伴う社会保険料の当第１四半期累計期間の見積額を計上し、賞与引当金繰入額及び福利厚生費が増加した影響等により、48億27百万円（前年同四半期比2.4%増）となりました。

以上の結果により、営業利益は18億59百万円（前年同四半期比2.1%減）、経常利益は18億76百万円（前年同四半期比1.4%減）となり、四半期純利益は11億22百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。

②ルート別売上高の状況

	当第１四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）	
	金　額	構成比
	百万円	%
ファクトリールート	29,333	90.3
ホームセンタールート	2,683	8.3
その他	444	1.4
合計	32,460	100.0

1)ファクトリールート(製造業、建設関連業等向け卸売)

国内製造業における生産活動が回復傾向で推移する中、在庫・物流・電子商取引を含む受発注システムなどの当社に優位性のある機能を活用し、モノづくり現場のニーズに対して正確かつ迅速に商品供給を行うことにより、お客様の利便性向上につながる活動に取り組みました。

その結果、売上高は293億33百万円（前年同四半期比1.7%増）、経常利益は18億29百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。

2)ホームセンタールート(ホームセンター向け販売)

プライベート・ブランド商品を含む幅広い“**PRO TOOL**”を販売していただけるよう売り場の提案も含めた営業活動を実施しました。しかしながら、天候不順の影響を受けて北海道・東北エリアの来店客数が前年を下回りました。

その結果、売上高は26億83百万円（前年同四半期比2.9%減）、経常損失は４百万円（前年同四半期は11百万円の経常利益）となりました。

3)その他

当社は、「ファクトリールート」及び「ホームセンタールート」に含まれない通販企業向け販売等を「その他」に含めています。通販企業向けの売上増加が寄与した結果、売上高は４億44百万円（前年同四半期比27.7%増）、経常利益は27百万円（前年同四半期比47.4%減）となりました。

(2)財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、前事業年度末に比べ33億68百万円減少の966億63百万円（前事業年度末比3.4%減）となりました。その主な要因は、現金及び預金が12億47百万円、売掛金が24億98百万円それぞれ減少したことによるものです。

(負債)

負債合計は、前事業年度末に比べ38億66百万円減少の138億82百万円（前事業年度末比21.8%減）となりました。その主な要因は、買掛金が20億65百万円、未払法人税等が12億94百万円それぞれ減少したことによるものです。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ４億97百万円増加の827億81百万円（前事業年度末比0.6%増）となりました。その主な要因は、利益剰余金が四半期純利益11億22百万円の計上により増加し、期末配当金６億76百万円の支払により減少したことによるものです。なお、自己資本比率は前事業年度末の82.3%から85.6%となり、前事業年度末に比べ3.4%の増加となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年５月７日発表の数値に変更はありません。

２．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,899	10,651
売掛金	18,723	16,225
商品	20,224	20,624
繰延税金資産	829	442
その他	371	549
貸倒引当金	△10	△0
流動資産合計	52,038	48,492
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	15,482	15,266
工具、器具及び備品（純額）	472	439
土地	25,482	25,767
建設仮勘定	1,974	2,050
その他（純額）	674	652
有形固定資産合計	44,085	44,177
無形固定資産		
ソフトウエア	1,582	1,506
その他	331	415
無形固定資産合計	1,914	1,922
投資その他の資産		
投資有価証券	1,112	1,194
その他	893	885
貸倒引当金	△12	△8
投資その他の資産合計	1,994	2,071
固定資産合計	47,994	48,170
資産合計	100,032	96,663

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年３月31日)	当第１四半期会計期間 (平成25年６月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,966	8,900
未払金	1,811	1,273
未払費用	151	79
未払法人税等	1,702	407
賞与引当金	744	564
役員賞与引当金	―	24
その他	193	420
流動負債合計	15,571	11,671
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	219	219
役員退職慰労引当金	166	166
その他	1,791	1,825
固定負債合計	2,177	2,210
負債合計	17,748	13,882
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,022	5,022
資本剰余金	4,709	4,709
利益剰余金	73,631	74,077
自己株式	△45	△46
株主資本合計	83,318	83,762
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	216	268
土地再評価差額金	△1,250	△1,250
評価・換算差額等合計	△1,034	△981
純資産合計	82,283	82,781
負債純資産合計	100,032	96,663

（２）四半期損益計算書
第１四半期累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
売上高	31,963	32,460
売上原価	25,349	25,774
売上総利益	6,614	6,686
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	679	732
役員報酬	63	66
給料及び賞与	1,555	1,607
賞与引当金繰入額	470	564
福利厚生費	343	406
通信費	76	71
減価償却費	391	390
借地借家料	123	114
その他	1,009	873
販売費及び一般管理費合計	4,714	4,827
営業利益	1,899	1,859
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	9	10
仕入割引	321	314
その他	71	76
営業外収益合計	403	403
営業外費用		
売上割引	354	351
その他	45	34
営業外費用合計	400	386
経常利益	1,902	1,876
税引前四半期純利益	1,902	1,876
法人税、住民税及び事業税	344	370
法人税等調整額	424	382
法人税等合計	768	753
四半期純利益	1,134	1,122

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第１四半期累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第１四半期累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）３	四半期損益計算書計上額（注）４
	ファクトリールート	ホームセンタールート	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,852	2,762	31,615	348	31,963	－	31,963
セグメント利益(注)２	1,838	11	1,850	52	1,902	0	1,902

(注)１　「その他」のセグメントには、報告セグメントに含まれない通販企業向け販売等の事業セグメントを含んでいます。

２　「セグメント利益」は、経常利益を表示しています。

３　「セグメント利益」の調整額０百万円は、各報告セグメントに帰属しない利益が含まれています。

４　「セグメント利益」は、四半期損益計算書の経常利益と調整を行っています。

当第１四半期累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）３	四半期損益計算書計上額（注）４
	ファクトリールート	ホームセンタールート	計				
売上高							
外部顧客への売上高	29,333	2,683	32,016	444	32,460	－	32,460
セグメント利益又は損失(△)(注)２	1,829	△4	1,825	27	1,852	23	1,876

(注)１　「その他」のセグメントには、報告セグメントに含まれない通販企業向け販売等の事業セグメントを含んでいます。

２　「セグメント利益又は損失(△)」は、経常利益を表示しています。

３　「セグメント利益又は損失(△)」の調整額23百万円は、各報告セグメントに帰属しない利益が含まれています。

４　「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期損益計算書の経常利益と調整を行っています。